

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告・展示物に関する規程（国内）および大会申し合わせ事項により実施する。
- * 日本選手権 20 km競歩/U20 選抜競歩、いずれもペナルティゾーンを設ける。
 - * 競技エリア、表彰エリア（インタビューを含む）で着用できる衣類と持ち込める物品については事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。
（日本陸上競技連盟 大会 HP 内の大会関連情報「国内広告規程に関する補足資料」にも掲載）

- 2 招集場所は、競技者係付近の招集エリアとする。（会場図参照）
招集は、必ず本人が受けること。招集完了後は役員の指示によりスタート地点へ誘導する。
スタートの整列は進行方向左から資格記録順とする。（オープン出場を含む）
招集時刻については下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	スタート時刻
日本選手権 男子 20 km	8 : 30	8 : 40	8 : 50
日本選手権 女子 20 km	8 : 50	9 : 00	9 : 10
U20 男子 10 km	10 : 50	11 : 00	11 : 10
U20 女子 10 km	11 : 50	12 : 00	12 : 10

- 3 ウォーミングアップは、甲南大学グラウンドおよび指定された歩道で競技役員の指示のもと行うこと。
- 4 アスリートビブスは下記の通りとする。ユニフォームの胸部と背部に確実につけること。
日本選手権種目については胸部に名前と番号記載のアスリートビブス、背部に番号のみ記載のアスリートビブスをつけること。

日本選手権 男子 20 km	白 ・ 黒 字	日本選手権 女子 20 km	白 ・ 赤 字
U20 男子 10 km	黄 ・ 黒 字	U20 女子 10 km	ピンク ・ 黒 字

- 5 ゼネラルテーブル、スペシャルテーブルを設置する。なお、競技者がサポーターを手配している場合は、大会当日 7 : 45 ~ 9 : 30 に選手受付に必ず申し出ること。サポーターにはビブスを貸与する。
（競技終了後ビブスは競技者係に返却すること）
- 6 競技中、身体に異変、事故が生じた時は、競技役員に申し出ること。
- 7 競技者は、医師および審判長から競技の中止を命じられた時は直ちに競技を中止してコース外に出ること。
- 8 競技中の傷害・疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- 9 交通規制および競技運営の都合上、スタートから下記の制限時間を超えた競技者は次の周回に入ることとはできない。

日本選手権 男子 20 km	1 時間 30 分	日本選手権 女子 20 km	1 時間 49 分
U20 男子 10 km	49 分	U20 女子 10 km	54 分

- 10 横断幕の設置を希望する場合は、大会本部へ必ず申し出て指定された場所に設置すること。また、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。
（のぼりなどをフェンス、ガードレール等に固定することは禁じられている）

- 11 ドーピング検査対象者には、フィニッシュ後直ちに係から連絡する。
- 12 記録証明書を希望する者は、成績発表後に500円を添えて、競技本部に申し込むこと。
- 13 表彰について
各種目の競技終了後準備が整い次第、表彰エリアで1位～8位の表彰式を行なう。(会場図参照)
- 14 大会当日はADカードによる入場規制を実施する。選手ADは1名につき1枚、コーチADカードの発行枚数については下記の通りとする。
選手1名…1枚 選手2～4名…2枚 選手5～8名…3枚 選手9名以上…4枚
- 15 完歩した競技者には完歩証が発行されるので、成績発表後に記録係まで受け取りに来ること。
- 16 シューズコントロール：競技者はWA承認シューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org/>) に掲載され、使用可能期間に該当するモデルを着用しなければならない。競技者は競技に使用したシューズのモデル名を把握しておくこと。競技後に使用したシューズがチェック対象となる場合がある。カスタムシューズや開発段階のシューズの着用は競技者が事前にWAより許可を得ること。使用が認められていないシューズの着用が確認された場合は失格の対象となる。世界記録達成時や、その他、審判長が必要と判断した場合は当該シューズを回収する場合がある。